

日刊

オール大阪

さよなら「維新」vol.9

毎日、新しいニュースをお届けしています

働く人を大事にする まっとうな府・市政を 「オール大阪」の力で

「夜遅くまで毎日仕事で、
たたくた！」「残業代なんて支払
われていない！」「給料あげて
ほしい」「正社員になりたい」
……労働者から悲痛な声があ
がっています。

「維新政治」の8年間で、大
阪では、正社員の非正規化が
進み、4割がパート・アルバイ
ト・契約社員などの非正規で、
その大半が年収200万円以
下です。

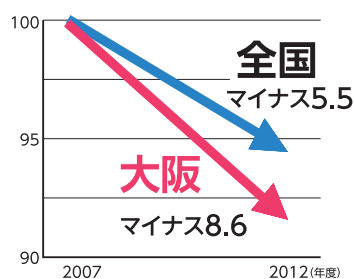
給料
あげて
ほしいな

やっぱ
り正社
員に
なり
たい



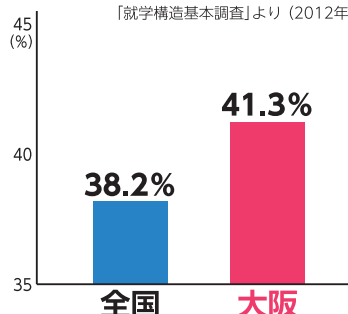
雇用者報酬の推移

(「県民経済計算」より) ※2007年を100とする



非正規雇用者率の推移

(「就学構造基本調査」より) (2012年)



維新

「最低賃金制の廃止」を提言しま
した。

いま必要なのは、中小企業へ
の抜本的支援とセットで最低賃
金を引き上げることです。

維新

長時間労働と首切りを自由にで
きる「チャレンジ特区」をすすめ
ようとしています。

「ブラック企業特区だ」との批
判の声に、「労働法で守られなく
てもいいよという人もいる」「橋
下市長」と開き直っています。

雇用のルールをこわす 「維新政治」は退場

元女性府議

中小企業、働く人の
ふところを温める
対策を

働く女性が輝き、
活躍できる府政に

若者の雇用拡大に
つながる雇用対策を



元市議団幹事長

若者への就労支援を
充実し、人と仕事をつなぐ

非正規雇用から
正規雇用へ転換する

企業を支援。
雇用の正規化を応援。

市と契約する事業者に
一定額以上の賃金を支払

うことを義務づける
公契約条例の制定



正社員化に独自支援策

東京都企業に最大50万円助成

非正規雇用の正社員化を
促進するため、東京都は
「正社員化支援策」を
実施している。正社員に
昇格した労働者の給与
を、昇格前より1割以上
引き上げる。また、正
社員化に貢献した企業
に、最大50万円の助成
金を支給する。

▶全国で進む、正社員化への支援策

● 明るい民主府政

発行/2015年11月17日 第823号
明るい民主大阪府政をつくる会

〒530-0047 大阪市北区西天満3-1-27 レバング西天満
TEL.06-6365-5839 FAX.06-6365-5842

Mail akarui@mbs.sphere.ne.jp
HP <http://osaka-akarui.com/>

明るい会

検索

「明るい会」は、大阪商工団体連合会、大阪府保険医協会、新日本婦人の会、全大阪労働組合総連合、日本共産党など56の団体・政党で構成しています。

「明るい民主大阪府政をつくる会」は次の見解を出しました。

つなごう!
OSAKA

**政党助成金の奪い合い
おおさか維新には託せません**

5月の住民投票で敗れて「政治家引退」を表明した橋下市長。その後、8月には維新の党を自ら離党したものの、今も続く維新の党の内紛と政党助成金の分捕り合戦を後ろで操っています。政界に混乱をもたらすおおさか維新に大阪の未来は託せません。



政務活動費の不正も

● 小林由佳堺市議

「架空のビラ代1000万円」を不正取得

「維新」の堺市議が、「架空の政治活動ビラ」の代金1000万円を政務活動費として不正取得。堺市長は「詐欺罪や公文書偽造罪での刑事告訴も視野に検討」と述べています。

- 伊藤良夏大阪市議は高級車「レクサス」購入に政活費
- 梅園周大阪市議は英ダイソン社製高性能掃除機を購入
- 今井篤大阪市議は大学の入学金に支出
- 丹野壮治大阪市議は電動アシスト自転車購入

(肩書はいずれも当時)

税金争奪をめぐる醜い争い

「維新の党は割らない」と表明した翌日に態度を豹変した橋下市長。その意向を受けた大阪系が政党助成金の分割を求めて分党協議を行います、東京系に断られます。

10月には6億6千万円もの政党助成金が維新の党の銀行口座に振り込まれることをめぐって、通帳と印鑑の奪い合いが生じました。

メディアが「税金争奪をめぐる醜い争い」と報じると、急
ぎよ、橋下市長が「国庫に返す」などと主張をはじめます。

離党した橋下市長が指令?!

橋下市長は、「維新の党をつくった者の責任として維新の党を解党し支払いを終えて残ったお金は、国庫に返納することを決めました」「維新の党は日本の国にとって百害あって一利なしです」とツイッターでつぶやきます。

離党した人物の意を受け、大阪系の議員たちは臨時党大会なるものを開いて維新の党の解党を決定(橋下市長は大会会場をモニターで監視)。正当性を主張して内紛はいつそう泥沼化しています。

「住民投票」で約6億5千万円の借金

「都構想」の住民投票で、CM料金など約5億円、運動員の全国動員費用・約1億5千万円の合計約6億5千万円の借金があると報じられています。

「あまった分は国に返す」といっても、ほとんど返納できるお金は残りません。維新の党(東京系)の江田前代表は「格好つけ」と批判しています。

「身を切る改革」「税金を国庫に返す」など、ブラックジョークでしかありません。

広がる共同の声



金や権力に屈せず 前進させよう

えらいこっちゃんの会事務局長
池田 裕子さん

今、「維新」と反維新の大阪秋の陣がたたかわれています。私達には金も権力もない。しかし、金や権力に屈しない魂と連帯の力があります。私達は一からスタートしているのではなく、春の陣のたたかいの土台の上に、新たな地平の上に、このたたかいに挑んでいます。大阪を独裁者の手から取り戻しましょう。

金権住民投票

5月の住民投票のことを思い出してください。連日のテレビコマーシャル、新聞折り込みチラシ・広告、8ページ建てカラー印刷パンフレット、全国からの大量の宣伝カー、インターネットでの広告、橋下市長の音声録音の無差別電話……その支払いは税金で、ということです。許せますか?!

